

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.7

2012年5月度 活動報告 (2012年6月30日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



左の写真は、登米の南方仮設の方が作られたマスコット「立ちあガレイ」です。復興に向かう被災地の方の想いが、強く込められているのを感じます。瓦礫が片付き、更地になった風景。まだ傷跡の残る風景。そんな景色を見ながら暮らす被災地では、震災ストレスのケアが課題になりつつあります。少しでもお力添えできるよう、ルーテル教会救援のスタッフ一同、日々の活動を着実に続けています。

2012年5月の活動をご報告いたします。



【全国からのご協力】被災地関連商品の販売



5月のバザーシーズン、近畿福音桔梗が丘ルーテル教会(三重県)・日本福音ルーテルなごや希望教会が被災地関連商品の販売をしてくださいました。また、日本福音ルーテル東京教会で開催されたJELC総会でも販売、たくさんのご協力をいただきました。

← 5月13日、桔梗が丘ルーテル教会バザーでの販売の様子。東日本大震災の支援コーナーをつくり、義援金箱の設置や、ボランティアに参加された方々の報告も。となりびとの活動の報告もして下さったそうです。



なごや希望教会・鈴木さんから報告のメッセージを頂きました。「5月27日、好天に恵まれた中なごや希望教会でバザーが行われました。例年の品と共に今年は東北支援コーナーができました。可愛い手作りブローチやストラップが訪れた人の目を引きました」↑



【秋のバザーシーズンに向けて】石巻市・十三浜のワカメや昆布、北上女性プロジェクトのミサンガやエコバック・エコたわし、気仙沼市・前浜の女性グループの手しごと品など、ご用意いたします。

【となりびと】海外からのお客様



5月はドイツ・ブラウンシュバイク教区のBodo Walther氏とアメリカ福音ルーテル教会の石田順孝牧師が「となりびと」を訪問されました。お二人は、震災支援報告と今後の支援活動調査のために来仙されました。お二人とも、これまで「となりびと」で行ってきた支援先を精力的に訪問され、それぞれの献金が、被災地のために有効に使われていることを実感されると同時に、今後も息の長い支援が必要であることを痛感されたようです。

また、5月に仙台でコンサートを開催されたブラザーズ・フォアの方からアメリカでのチャリティーコンサートの収益金を被災地支援のためにという申し出もいただきました。

